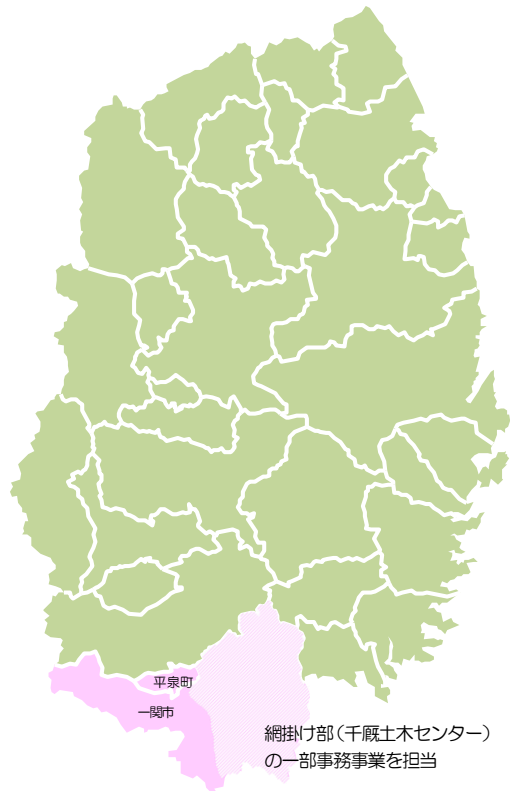


# 県土整備部の職場紹介 No.11

## 県南広域振興局土木部一関土木センター



### 地域概要

一関土木センターは岩手県の最南端に位置し、所管区域は**一関市**（千厩土木センターが所管する区域を除く。）と**平泉町**の1市1町を担当しています。

当該地域は、世界遺産である平泉を中心に古くから経済・文化が発展し、近年は、岩手県の南の玄関口として、隣接する秋田県・宮城県との県際交流の地となっています。

東日本大震災津波以後、沿岸部の復旧・復興を支える復興支援道路の整備を喫緊の課題として取り組んでいます。

### 組織体制

#### ○平成28年度組織キャッチフレーズ

～ともに築こう いわいの未来～

#### ○組織の特徴

当センターの組織は、**所長以下5課及び1担当**（管理課・用地課・道路整備課・道路河川環境課・建築指導課・企画担当）で構成され、職員数は、正職員30名と臨時職員等18名を加え、**総勢48名の体制**です。

なお、用地課・道路整備課・建築指導課は、千厩土木センター所管区域の事務・事業についても担当します。

### 今年度の主な取組

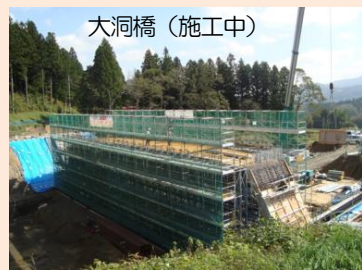
#### 1. 一般国道284号室根バイパス工区

##### ○事業概要

内陸（一関方面）と沿岸（気仙沼方面）を連絡する一関市室根町折壁～矢越地内の一般国道284号道路整備事業です。バイパスを整備し、交通の隘路区間（幅員狭小、線形不良、狭小歩道、JR大船渡線の桁下制限（H=4.1m）と踏切）の解消を図ることにより、安全で円滑な交通の確保を目指しています。



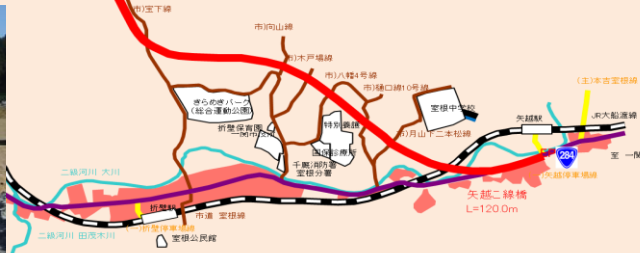
梅木こ線橋（上部工準備中）



大洞橋（施工中）



矢越こ線橋（施工中）



## 2. 主要地方道一関北上線 柵の瀬橋

一関市街地と北上川東部方面を連絡する橋梁事業です。老朽化の著しい（約50年経過）、歩道のない幅員狭小な橋を架け替えます。国土交通省が治水事業として整備を進めている一関遊水地事業と一体となって平成25年度から進めています。

平成28年9月に下部工が完了し、上部工は平成29年1月から着手する予定です。



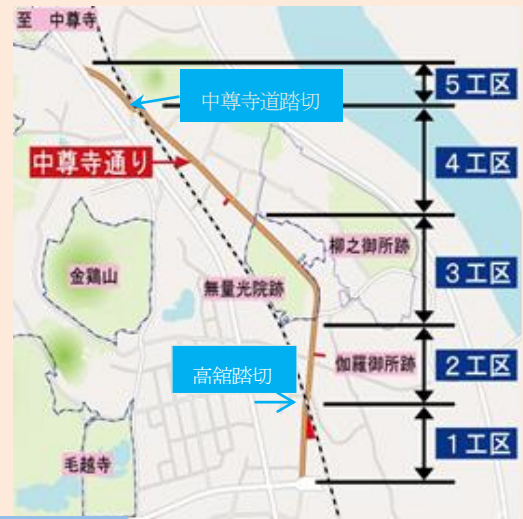
## 3. 電線共同溝整備工事（中尊寺通り）

一般県道平泉停車場中尊寺線において、無電柱化を進めています。歩行空間を拡大し歩行者の安全と円滑な交通を確保して、電柱のないすっきりとした道路景観を創出し、中尊寺への参道としてふさわしい道路空間を目指します。

整備は、平泉駅前から中尊寺参道口までを5地区に分けて進めており、3地区（1・4・5工区）の工事が概ね完了しています。

今年度は、高館踏切部の拡幅が完成し、引き続き高館踏切部推進工事と、2工区共同溝整備の工事を行っています。

今後は、残る3工区及び中尊寺道踏切部の整備と石張舗装工事を進め、平成29年度の完成を目指し事業を進めていきます。



着手前状況（平泉駅前）



完成状況



整備区間

## 独自の取組等

### 1. 心を入れたおもてなしによるお客様サービス向上に向けた取組

#### ● 接遇力向上に向けた取組

許可申請や打合せ等で来庁されるお客様に対し、職員が一体となって気持ちの良い対応ができるよう、接遇研修を実施するなど接遇力の向上に努めています。

#### ● お客様をお迎えするための環境整備

受付を配置し、お客様の案内をスムーズに行うとともに、丁寧な対応ができるよう打合せスペースを確保するなど来客対応の環境整備に努めています。



### 2. 職員の能力開発に向けた取組

職員が講師となって、自ら取得した知識や業務経験を他の職員に伝える研修会を、全職員持ち回りで定期的開催し、職員個々のスキルアップやプレゼンテーション能力の向上に取り組んでいます。

